

FT 技-32391-F  
2026 年 4 月 1 日

軽量耐火パテ  
「ダンシール-KP」  
技術資料

古河電工パワーシステムズ株式会社

株式会社古河テクノマテリアル

## 1. 製品概要

ビルや工場、発電所などの壁や床、または制御盤や分電盤などをケーブルや配管が貫通している場合、貫通部のシール用としてパテ材が使用されます。

ダンシール-KP は比重が約 0.95 と非常に軽量で、やわらかく作業性に優れ、さらに耐炎性、難燃性を付加した軽量耐火パテです。防火区画を始め様々な貫通部のシールのほか、防煙区画や難燃を要する部分、簡易的な防水、接合部どうしの隙間の仕上げなど、様々な箇所のシール用として便利に使用できます。

防火区画貫通部に対して使用できる認定工法については、本誌末頁をご覧ください。または弊社までお問い合わせください。

## 2. 本製品の主要構成材料

表-1 に本製品の主要構成材料を示します。

表-1 本製品の主要構成材料

バインダー	液状樹脂、オイルなど
無機充填剤	水酸化アルミニウムなど
軽量化材	樹脂バルーンなど
その他	繊維など

### 3. 本製品の特性

表-2 に本製品の特性を示します。

表-2 本製品の特性

項目	物性(代表値)
(1) 形状	ブロック状
(2) 色	グレー
(3) 難燃性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UL94 燃焼試験の V-0 判定</li> <li>(プラスチック材料の燃焼試験 UL94 参照)</li> <li>・鉄道車両用難燃性試験にて「難燃性」判定 (車材燃試 2016-204K)</li> <li>※いずれも試験体厚 8 mm</li> </ul>
(4) 酸素指数	26 以上 (JIS K 7201 参照)
(5) 比重	0.95±0.1 (水中置換法)
(6) 保管温度	40℃以下
(7) 加熱減量	105~110℃×3 時間にて 1%以下 (JIS A 5752 参照)
(8) 軟度	60±15 (23±3℃) (JIS A 5752 参照)
(9) 熱伝導性	0.5 W/m・K (JIS R 2616 熱線法参照)
(10) 絶縁性	体積抵抗率(常温) : $6.7 \times 10^{11} \Omega \cdot \text{cm}$
(11) 促進耐候性	スーパーUV テスター600 時間で外観に異常なし
(12) 耐水性	水道水浸漬(常温) 6 日間で外観に異常なし
(13) 金属に及ぼす影響	Al、Cu、Pb、Fe、ステンレス、真鍮に付着させて異常なし(60℃×14 日間)
(14) プラスチックに及ぼす影響	ポリエチレン、架橋ポリエチレン、PVC に付着させて異常なし(60℃×14 日間)

### 4. 本製品の特長

#### ①優れた耐火性、耐炎性

炎に接すると表面から硬化し、軟化、脱落などを起こさず良好な耐炎性が長時間持続します。またプラスチック材料の燃焼試験 UL94 を参照した試験において、試験体厚 8mm で V-0 相当の難燃性を示します。

また、鉄道車両用材料燃焼性試験において、試験体厚 8mm で「難燃性」の判定を取得しています。(車材燃試 2016-204K)

#### ②軽量

比重が約 0.95 で非常に軽く、持ち運びや施工が容易です。また、重量あたりの体積が大きくなるため、経済的です。

③良好な作業性、付着性

適度な軟らかさと粘着性を持ち、対象物の形状に合わせて自由に成形できます。また非硬化型の為、施工後の補修や再施工も容易です。

④耐環境性

耐候性に優れています。また通常の水濡れ(雨水がかかる場所など)に対して耐水性も有します。

⑤アスベスト・ハロゲンフリー

アスベスト、ハロゲンを含みません。



## 5. 注意事項

- ・作業時は、軍手、手袋など適切な保護具を使用してください。
- ・作業後は手洗いを十分に行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに吐き出させて医師の診断を受けてください。
- ・保管に関しては直射日光を避け、子供の手の届かない室内に保管してください。
- ・廃棄される場合には、安全データシート(SDS)をご請求頂き、各地方自治体の規則に従って適切に廃棄してください。
- ・区画貫通部への施工に際しては、各工法の認定書・施工要領書をご確認ください。
- ・ご使用前に、施工箇所の油分、水分、ちり、ほこりなどを除去してください。
- ・寒冷地では硬くなっている事がありますが、使用前に常温程度に温めるとやわらかくなります。
- ・油類に接触するような場所、また常時水に浸るような場所には使用しないでください。




**※本製品は、姉妹品「ダンシール-P」で国土交通大臣認定を取得した工法には使用できません。  
詳しくは弊社までお問い合わせください。**








## 6. 安全に関するご注意

ご使用前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

 <b>注意</b> :	気をつける必要があることを表しています。
 <b>禁止</b> :	してはいけないことを表しています。
 <b>指示</b> :	しなければならないことを表しています。

 <b>警告</b>		床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。
		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
		最大開口面積または直径以下で施工してください。
		ケーブルなどの貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。
		取扱説明書または認定書・評定書に従って施工してください。
		貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。
		液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。
		繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。
 <b>注意</b>		床または壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。
		耐熱シール材などのパテを扱う際は保護具を着用してください。
		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。
		防水性が要求される場合は別途施工してください。
		ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。
		施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時も工法表示ラベルを更新してください。

## 7. 免責事項

- (1) 防火区画貫通部防火措置が認定または評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者および建物管理者の責任において施工および維持管理していただきますようお願い致します。
- (2) 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ① 認定・評定条件以外の施工を行った場合（個別の取り決めに依る仕様は除く）
  - ② 弊社指定以外の材料を使用した場合
  - ③ 本来の使用目的以外に使用した場合
  - ④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
  - ⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
  - ⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
  - ⑦ 通常の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
  - ⑧ 周辺環境に起因する場合（例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など）
  - ⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
  - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
  - ⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
  - ⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など）
  - ⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

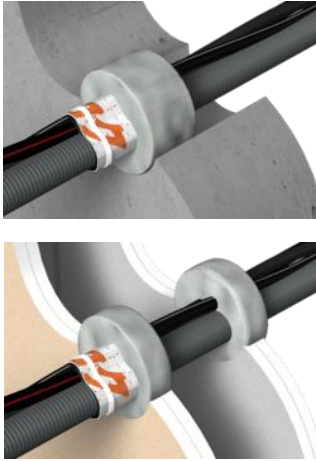
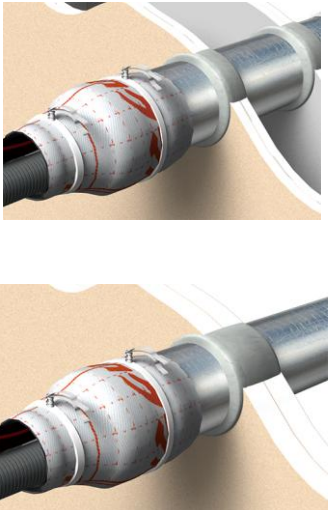
## 8. その他

本書記載の内容は、製品改良などのため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上

防火区画貫通部の国土交通大臣認定工法および認定番号(ダンシール-KPを使用する工法の一例)

※各工法の詳細は各工法の認定書・施工要領書などをご確認ください。

<p>イチジカンパット</p> <p>PS060WL-0694、PS060WL-0695 PS060WL-0676、PS060WL-0678</p> <p>ケーブル・合成樹脂製可とう電線管対応</p>  <p>適用貫通部: 中空間仕切壁・鉄筋コンクリート壁ALC壁・片壁</p>	<p>イチジカンパイプ</p> <p>PS060WL-0866、PS060WL-0867</p> <p>鋼製電線管理め戻し材として</p>  <p>適用貫通部: 中空間仕切壁・鉄筋コンクリート壁ALC壁・片壁</p>
---	---